

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

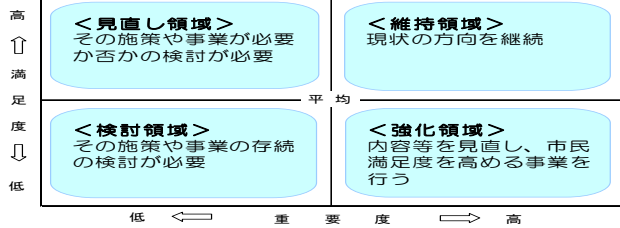
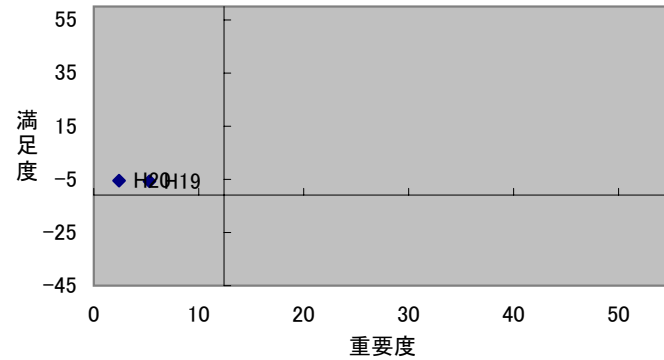
施策名 (小項目)	コミュニティ	コード	05-01-02	作成者	役職	企画課長
				氏名	里見 清美	
				電話	64-1871	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安全でふれあい豊かな地域社会を作るため、また、災害対策、少子高齢化の進行、青少年の健全育成などに対処するためにコミュニティ組織を支援する。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	地方分権が進む中、災害対策、少子高齢化の進行、青少年の健全育成などから、地域社会の果たす役割への期待は大きく、コミュニティの重要性がますます高まってきている。また、安全でふれあい豊かな住みよい社会を築いていくためには、人と人が信頼しあい、助け合う連帯意識が大切である。今後は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という地域住民の主体性、自主性を尊重したまちづくりを目標に、自治意識、各種団体との相互理解を深め、コミュニティ活動が一層活性化されるよう、コミュニティ組織の育成が重要な課題となっている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ活動の推進 地域組織の連携支援 市民主体のまちづくりの推進 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	5.3	2.4	
満足度(%)	-5.7	-5.5	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度も満足度も低く、市民の関心は低い。また、自治会活動においても、その活動が地域によって温度差がある。しかし、地域のつながりが希薄化する中で、大規模災害の際にはコミュニティが重要であり、市民の関心が低くても、重要な施策として引き続き実施していかなければならない。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 コミュニティ助成事業団体数	団体数	8	6	6	6	6	6		コミュニティ施設が整備される
	実績	6	5	4					
	達成率	75.0	83.3	66.7					
2 ふるさとづくり基金活用事業(助成事業)件数	件数		5	5	5				各種団体による地域振興を図る
	実績		3	4					
	達成率		60.0	80.0					
3 地域組織等加入世帯数	世帯数	15,800	15,900	15,900	16,000	16,000	16,000		加入率が低くなると地域のつながりが希薄になる
	実績	15,758	15,833	15,840					
	達成率	99.7	99.6	99.6					
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算				
				H17			H18			H19				H20 当初(直接事業費)			
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数					
1	(仮称)備前市まちづくり基本条例制定事業	B	実務担当者研修事業	内部管理						0	150	0.02	☆☆	人件費のみ	0		
			まちづくり条例策定関係事務	内部管理						0	819	0.09	☆☆	人件費のみ	0		
2	コミュニティ推進事業	C	コミュニティ啓発事業	内部管理	97			85		0	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0		
			コミュニティ助成事業助成金	施設維持管理	14,800	3,711	0.38	21,800	3,705	0.40	21,600	1,272	0.17	☆☆☆	\$\$\$	0	
			コミュニティ推進事業補助金	施設維持管理	200			66			155	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	0	
3	有線放送施設設置事業	C	有線放送施設設置事業補助金交付事務	単市補助給付	1,173	1,204	0.13	0	228	0.03	396	93	0.01	☆☆	\$\$	200	
4	コミュニティ施設整備事業	A	東新田会館建設事業	単市補助給付							23,301	1,949	0.20	☆☆☆	\$\$\$	39,259	
			その他会館建設事業	単市補助給付	92,238	5,279	0.55	74,362	3,365	0.35	0	1,018	0.10	☆☆☆	人件費のみ	0	
5	自治会運営支援事業	C	町内会長等永年勤続表彰	その他単市	72			15			35	150	0.02	☆☆	\$\$	25	
			区会等連絡協議会補助金事業	その他単市	200			170			170	75	0.01	☆☆	\$\$	110	
			区会等運営費補助金交付事業	単市補助給付	13,847	5,796	0.60	13,879	8,207	0.86	14,141	75	0.01	☆☆☆	\$\$\$	14,169	
			自治会運営支援事業(日生・吉永)	単市補助給付	0			0						☆	H19終了		
			自治連絡協議会事務事業	内部管理							0	3,418	0.38	☆☆	\$\$	0	
6	備前地区ふるさとづくり基金活用事業	C	ふるさとづくり基金活用事業補助金交付事務	その他単市				3,000	1,015	0.10	18,165	741	0.08	☆☆	\$\$	123,000	
7	協働推進事業	C	意見交換会開催事業	その他単市	0	2,184	0.25	0	2,220	0.23	0	2,978	0.30	☆☆	\$\$	0	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	122,627	18,174	1.91	H18	113,377	18,740	1.97	H19	77,963	12,738	1.39	H20当初(直接事業費)	176,763

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
中央公民館	自治公民館整備事業	コミュニティハウス建設後は、自治公民館と同じ扱いになる
企画課	地域のリーダー育成事業	研修会等を開催し、リーダーの育成を図る
日生総合支所市民窓口課	地区集会所整備事業	地区集会所を整備することにより、地域活動の活性化、連帯意識の高揚が図れる

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
項目	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	2	コミュニティ施設は計画的に整備されている。また、コミュニティ助成事業も宝くじ助成制度を活用し実施している。	3	計画的な整備が図られている。
2 事業構成の適当性	2	コミュニティ活動の拠点である地区集会所の整備は計画的に進めている。区会補助金は、合併前の協議に基づき支出している。	2	協働のまちづくり推進のため、地域の拠点施設となるコミュニティ施設の整備は妥当な事業展開である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	区会との協働によるまちづくりを進めている。地区集会所施設は、有効に活用されている。	3	地域住民に有効に利用されている。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	各地区が活発にコミュニティ活動をするためには、リーダーの育成が不可欠であり、区長等の研修会の充実を図る必要がある。また、自治総合センターの宝くじ助成制度について、区長に周知徹底を図り、助成制度を有効に活用していただく必要がある。			コミュニティリーダーの養成は、行政として取り組むべき課題である。
二次評価者コメント	役職 総務部長 氏名 森山 純一			コミュニティについては、多様な助成制度があり、周知を図るとともに、協働のまちづくり推進のため、地域のリーダー養成が急務である。

基本施策への貢献度
3中立